



学校教育理念：「**凛**とした学校(凛貫学校)を目指して」

教育目標：自ら学び、自ら考え、生き生きと活動する長松っ子の育成

教育コンセプト：与えよう！ 元気 感動 繋がり



五つの玉みがきで心の教育を・・・

本校の教育目標に「・・・、自ら考え・・・」を掲げています。それはなぜか？

子どもたちの生活を見てみると、大人を頼り過ぎて、自分でできることも自分でできない、いじめなど問題行動の是非の判断が難しい子どもたちが増えてきているからです。

「はやく宿題しなさい！」―「わかってるさ」の押し問答や、ルールを守れないことに対して親子げんかを繰り返すなど、まるでモグラうちゲームです。

思い当たる節はありませんか？

そこで、長松小学校では、「指示・命令」から「考えさせる」に重きを置き、思いやり、我慢、正直さなどを一方的な押し付けでなく、自問自答させることを通して、いじめ防止、規律違反防止など心の成長を一層育ませる自問教育を実践しています。

教師は余計な口出しをできるだけしないで、基本的には、「あなたは、どうしたいの？」(問い)。「あなたならできるよ。」(自信)。「できたじゃない！」(承認)の3種類で関わり続けます。

また、子ども自身の行動を振り返らせることで、メタ認知力を高め、自分で判断する能力を培います。子どもたちには、わかりやすいように「五つの玉みがき」で説明しています。

掃除を通して、思いやり玉、がまん玉、気づき玉、感謝玉、正直玉の五つの玉磨きをして、必ず振り返りをさせます。このことを称して**自問掃除**と呼んでいます。

【自問掃除の具体像】



- 一、はじめの前に、全校で立腰し、自己決定(時間の切替や五つの玉磨きに対する目標設定をします。)
- 二、一切しゃべりません。
- 三、時間いっぱい掃除します。
- 四、必ず振り返りをします。
- 五、先生は一切注意しません。

掃除を通して子どもたちの心の成長を図るものです。具体的には、先生達は一切注意しないので、子どもにとっては、**正直に掃除**をすることを求められます。

周りの友達が、一切しゃべらずに掃除しているのため、しゃべって邪魔できないという**思いやる気持ち**が養えます。どこが汚れているかな？と**気づく力**や、係ではないけど自分が片付けよう！と**親切心**などが培われます。また、人が怠けていても、自分は自分という**信念(我慢)**も成長します。次回はさらに詳しい説明、実際の画像や感想を紹介します。

職員紹介

二学期に職員の出入りがありましたので紹介します。

■ 2年2組 新担任 下条 満 61歳

(前担任は出産のため退職)

■ 主に1年1組補助 戸川 裕介 24歳